

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-203	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	CⅡ702	Power On English Communication Ⅱ		

## 1. 編修の基本方針

基本方針

1

本文を素材として、4技能をバランスよく育むことができる教科書

- 各Lessonは、本文と4技能を扱うタスクなどから成る見開き構成です。タスクを左ページに、本文を右ページに置くことで、「本文の読み取り中心」ではなく「タスク中心」の授業を行いやすく、本文を素材として4技能を鍛えられる構成となっています。
- 各Part冒頭の「Guess」はイラストや写真を使った推測問題です。語彙や本文内容の推測をすることで、目的をもって本文読解に取り組むことができます。
- 各Lessonのまとめとして、Summary（要約）やAction（聞く、書く、話すの統合活動）を課末に設けました。本文で学んだことをもとにしながら、表現のアウトプットに重点を置いた活動を行うことで、コミュニケーション力を養うことができます。

基本方針

2

手厚い支援と明確なステップで、生徒が自ら学べる教科書

- 各Lessonのタスクや課末問題Actionは、段階を踏んで無理なく行えます。
- 生徒の学ぶ意欲を高めるため、扉に大きく写真を配置しました。
- 各Partの写真は、見るだけで本文内容が想起でき、効果的に授業の導入ができるものを取り上げています。

基本方針

3

学んだことを「使いながら」定着させる教科書

- 各Partの「Plus One」や課末問題Actionでは本文で学んだ語彙・表現を繰り返し「使いながら」定着させ、無理なくアウトプット活動ができます。
- 課末問題Actionでは、本文で学んだテーマについて、別の視点や異なる意見を聞く活動や、自分の意見を書いたり発表したりする活動を通して、学びを深めることができます。

2. 対照表		
図書の内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson Summer Reading Optional Reading	①各 Lesson で取り上げた題材を通して、異文化の発想や考え方を知り、広い視野を育成します。(第1号)	各 Lesson
	②Reading では生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ、互いを思いやる心と道徳心を培うように配慮しています。(第1号)	Summer Reading Optional Reading
	③各 Lesson の Plus One と関連表現をまとめた Tool Box Plus!で、豊かな自己表現を促します。(第1号)	p.12, p.30 など
	④英語活用力 Up コーナーでは、実際の言語の使用場面を踏まえたコミュニケーション活動を行い、実生活に生かすことができます。(第2号)	pp.180-182
	⑤実在する人物が、夢を実現するまでのストーリーを取り上げ、主体的な生き方について考える機会を設けています。(第2号)	Lesson 3, Lesson 8 Lesson 9 など
	⑥ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し、協力し合う心を育みます。(第2号)	各 Lesson の Plus One, Try It!, Action など
	⑦男性、女性をバランスよく取り上げ、男女が共に社会に参画している姿を示しています。(第3号)	Lesson 3, Lesson5, Lesson 9, Optional Reading など
	⑧自然を大切にしたり、環境保全を心がけたりするような題材を取り上げています。(第4号)	Lesson 2, Lesson 8 など
	⑨外国の生活や文化を紹介し、他国への理解と尊重の心を育みます。(第5号)	Lesson 1, Lesson 4, Lesson 9 など
	⑩我が国の伝統や文化について知り、それらを外国に向けて発信する力を養います。(第5号)	Lesson 5, Lesson 10 など
コラム類	①英語の基本的な文構造や発音などの学習を通して、日本語とは異なる特色に気づき、理解しようとする態度を養います。(第1号)	Sounds Interesting! など

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
観点	留意点	具体例
① 教育基本法の遵守	① 国際社会の舞台において積極的に挑戦し、活躍できる日本人を育成するために、英語力を確実に身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことを目指しています。	Lesson 1～ Lesson 10
	② 世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、日本の伝統・文化に関する題材を豊富に取り上げています。	Lesson 5, Lesson 8など
② 学習指導要領の遵守	① Lessonを重ねるごとに、「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力」を伸ばせるように、題材や練習問題が選択・配列されています。	Lesson 1～ Lesson 10
	② 生徒が自分のことばで英語をアウトプットする活動を取り上げ、コミュニケーションの機会を豊富に用意しました。	LessonのPlus Oneや Actionなど
	③ 話しことばや書きことばの違いが認識できるよう、さまざまなテキストタイプを取り上げ、使われる英語の「ジャンル」が意識できるよう配慮しました。	Lesson 1～ Lesson 10, Zoom in with コーパスなど
③ 内容・配列・分量	① 学習負担を考慮し、言語材料は1つのPartにつき1項目に限定しています。また、既習事項を新たな学習内容に関連させながらゆるやかに難易度を上げているため、無理なく英語を習得できます。	Lesson 1～ Lesson 10
	② 各Lessonは、「語彙の意味または内容の推測による導入→内容理解→演習→整理→発展」の順に構成されており、効率的に学習できるように配慮されています。	Lesson 1～ Lesson 10
	③ 本文は、一般的な授業の流れに沿ってPart分けされています。Partごとに、本文の内容把握と文法学習を行うため、無理なく、効率的に学習できます。	Lesson 1～ Lesson 10
④ 評価 (CAN-DO)	各Lessonの扉ページのGoals of the Lesson (4技能5領域の学習目標)を受けて、課末問題Actionでは言語活動を通して、そのLessonにおける目標の達成度を確認することができます。	Lesson 1～ Lesson 10
⑤ 英語で授業を行うための配慮	Lessonのタスクなどはなるべく日本語を介さずに内容が理解できるように工夫しています。また、生徒が英語でアウトプットする活動を充実させています。	Lesson 1～ Lesson 10
⑥ 英語コミュニケーションとの関連	① 英語コミュニケーションIからのスムーズな接続のために、Tips for Readingを用意しました。	Tips for Reading
	② 学習段階に応じて、平易なものから難しいものへと段階的に学習・指導できるように配慮しました。Lesson 1からLesson 4までは英語コミュニケーションIの文法事項の復習も兼ね、英語コミュニケーションIIへの橋渡しという点に特に留意しています。	Lesson 1～ Lesson 4

⑦ 伝統・文化の取り上げ方	①日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ、我が国の伝統・文化への意識を高め、日本を世界に紹介する意欲を促すようにしています。	Lesson 1, Lesson 4, Lesson 5など
	②言語を文化ととらえ、英語の基本的な文構造の学習を通して、日本語と英語の違いに気づきを与える活動を積極的に取り扱っています。	Zoom in with コーパスなど
⑧ 自然科学の取り上げ方	英語科にふさわしい意味のある切り口で取り上げられるよう、特殊な語彙や表現による負担に配慮して、題材選定をしています。	Lesson 7, Lesson 8など
⑨ 家庭学習・自学自習への配慮	①リーディングスキルが扱われています。	Tips for Reading
	②自宅でも本文や単語の音声を聞けるように、二次元コードを設置しています。	Sounds Interesting! など
⑩ 文字・印刷・製本	①活字は鮮明で美しく、写真、イラストなども鮮明です。	全体
	②製本は堅牢で、開きやすい様式です。	
	③図やグラフの色使いなど、色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインになっています。	

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-203	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	CⅡ 702	Power On English Communication Ⅱ		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

国際社会で活躍するために必要とされる、  
英語力の基礎を身につけられる教科書です。

基本方針

1

本文を素材として、4技能をバランスよく育むことができます。

- 各Lessonは、本文と4技能を扱うタスクなどから成る見開き構成です。タスクを左ページに、本文を右ページに置くことで、「本文の読み取り中心」ではなく「タスク中心」の授業を行いやすく、本文を素材として4技能を鍛えられる構成となっています。
- 各Lessonのまとめとして、Summary（要約）やAction（聞く、書く、話す、の統合活動）を課末に設けました。本文で学んだことをもとにしながら、表現のアウトプットに重点を置いた活動を行うことで、コミュニケーション力を養うことができます。

### 【「読む」ことについて】

- 各Lessonの本文では、テレビ番組、ラジオ番組、インタビューなどの「話しことば」と、オンライン記事、雑誌記事、論説文などの「書きことば」を扱い、さまざまなジャンルの英文に触れ、場面を意識しながら読むことができるように配慮しました。
- 各Part冒頭のGuessはイラストや写真を使った推測問題です。語彙や本文内容の推測をすることで、目的をもって本文を読むことができます。

### 【「聞く」ことについて】

- 各LessonのListenではTrue or False問題で本文の詳細を確認します。
- 課末問題ActionではScene 1で各Lessonテーマについて、本文とは別の視点や異なる意見を聞き取り、学びを深めます。
- 英語特有の音声の特徴については、コラム「Sounds Interesting!」で、例示付きで扱っています。英語の聞き取りだけではなく、発音する際にも役立つ内容です。

### 【「話す」および「書く」ことについて】

- 各LessonのPlus Oneで、自分のことを1文で話したり、書いたりします。
- 課末問題ActionではScene 2とScene 3で、本文で学習した表現を繰り返し使いながら、自分の意見を書いたり、発表したりします。
- コラム「Essay Writing」では、英語で複数のパラグラフを書くときに役立つ情報をまとめました。

## 手厚い支援と明確なステップで、生徒が自ら学べます。

- 各Lessonのタスクや課末問題Actionは、段階を踏んで無理なく行えます。
- 言語材料は、1パートにつき1項目に限定し、学習負担に配慮しています。また、既習事項を新たな学習内容に関連させながら緩やかに難易度を上げているため、無理なく英語力を高めていくことができます。
- 言語材料の配列については、英語コミュニケーションIの復習を行うとともに、平易なものから難しいものへと段階的および体系的に学習・指導できるように配慮しました。
- 冒頭のTips for Readingでは、本文の読解に役立つリーディングスキルについて、整理して扱っています。
- 教科書全体を大きく3つに分け、題材内容および学習事項の難易度が徐々に上がるようにしました。（下記参照）

## 【教科書の全体構成】

## Tips for Reading

リーディング  
スキルの確認



## Lesson 1～Lesson 4

題材：日常的な話題  
言語材料：英語コミュニケーションIの復習



## Lesson 5～Lesson 10

題材：社会的な話題  
言語材料：高校新出事項

## 学んだことを「使いながら」定着させ、深めることができます。

- 各PartのPlus Oneや課末問題Actionでは本文で学んだ語彙・表現を繰り返し「使いながら」定着させ、無理なくアウトプット活動ができます。
- 課末問題Actionでは、本文で学んだテーマについて、別の視点や異なる意見を聞く活動や、自分の意見を書いたり発表したりする活動を通して、学びを深めることができます。

## 国際社会に通じる発信力を高められる題材を扱っています。

- 前半部のLessonでは、身近な題材を通して、日本の伝統や文化に対する理解を深め、国際社会の中で生きる日本人としての思考力、判断力、表現力の育成を促すことができます。
- 後半部のLessonでは、世界の文化や人物を広く取り上げ、さまざまな価値観を学ぶとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができます。

## 実際の言語の使用場面を踏まえた活動を用意しています。

- 課末問題Actionでは、Scene 1で聞いた内容に対して、Scene 2やScene 3で自分の意見や感想を書いたり、発表したりする活動に取り組むことで、自分の考えを相手に伝える練習を積み重ねることができます。

題材・言語材料一覧

Lesson	タイトル	言語材料
Lesson 1	<b>Play Me, I'm Yours</b>	助動詞＋動詞の原形 受け身 S+V[be 動詞以外]+C
Lesson 2	<b>Ethical Fashion</b>	S+V+O+C[形容詞] S+V[使役]+O+C[原形不定詞] S+V[知覚]+O+C[現在分詞, 原形不定詞]
Lesson 3	<b>One for All, All for One</b>	現在完了形 過去完了形 仮定法過去の if 節
Lesson 4	<b>Vending Machines</b>	関係代名詞(主格) 関係代名詞の非制限用法 関係代名詞(目的格)
Lesson 5	<b>Design for Connecting Society: Braille Neue</b>	助動詞+受け身 S+V+C[分詞] S+V+O[if 節] It+seems[appears]+that 節
Lesson 6	<b>New Banknotes</b>	It+is[was]+said+that 節 形式目的語 it と that 節 形式目的語 it と to 不定詞 助動詞+have+過去分詞
Lesson 7	<b>Some Secrets about Colors</b>	関係代名詞(所有格) 同格を表す接続詞 that 節 前置詞+関係代名詞 関係副詞 where の非制限用法
Lesson 8	<b>Powdered Natto Solves a Global Water Problem</b>	強調構文 強調の助動詞 do 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which to+have+過去分詞
Lesson 9	<b>Flying after Her Dreams</b>	譲歩を表す副詞節 no matter how [where, when] 仮定法過去完了 分詞構文(過去分詞)
Lesson 10	<b>To Work or Not to Work?: Humans and Robots</b>	過去完了進行形 be+to 不定詞 未来完了形 insist など+that+S+V[動詞の原形]

## 2. 対照表

図書の内容・構成	学習指導要領の内容				3 内容の 取扱い	箇所	配 当 時 間
	2 内容			(3)言語活動及び言語の 働き			
	(1)英語の特 徴や決ま り	(2)情報を整理 しながら考え などを形成 し、英語で表 現したり伝え あったりす ること	①				
Tips for Reading	イ	イ			○	pp.6-8	1
Lesson 1	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ウ	ア・ イ(ア)・ ウ(ア)・ エ(ア)・ オ(ア)・ カ(ア)	ア(ア) イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	○	pp.10- 21	6
Lesson 2						pp.24- 35	6
Lesson 3						pp.38- 49	6
Lesson 4						pp.52- 63	6
Lesson 5			ア・ イ(イ)・ ウ(イ)・ エ(イ)・ オ(イ)・ カ(イ)	ア(イ) イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)		pp.74- 87	8
Lesson 6						pp.90- 103	8
Lesson 7						pp.106- 119	8
Lesson 8						pp.122- 135	8
Lesson 9						pp.138- 151	8
Lesson 10						pp.154- 167	8
Summer Reading	ア・イ・ ウ・エ	ア・ウ			○	pp.65- 72	4
Optional Reading	ア・イ・ ウ・エ			ア(ウ)	○	pp.171- 178	4
Sounds Interesting! 1~6	ア					p.23 p.51 p.105 p.137 p.153 p.169	6
Zoom in withコーパス 1~3	ウ・エ					p.37 p.89 p.121	3
Essay Writing 1~2	イ・ウ	ア				p.88 p.168	2
英語で注文	ウ	ア・イ	ウ(ア) カ(ア)	ア(ウ) イ(ウ)	○	p.180	1
英語のパンフレット	ウ	ア・イ	ウ(ア) カ(ア)	ア(ウ) イ(ウ)	○	p.181	1
英語で症状の説明	ウ	イ	イ(ア) エ(ア)	ア(ウ) イ(ウ)	○	p.182	1
文法のまとめ	エ					pp.184- 191	3
						合計	98時間